

平成30年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月12日

上場会社名 株式会社ファーマフーズ 上場取引所 東
 コード番号 2929 URL http://www.pharmafoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 武祐
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部部長 (氏名) 青笹 正義 TEL 075-394-8600
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第1四半期の連結業績（平成29年8月1日～平成29年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第1四半期	1,613	83.6	△483	—	△455	—	△459	—
29年7月期第1四半期	878	37.1	△438	—	△425	—	△424	—

(注) 包括利益 30年7月期第1四半期 △455百万円 (—%) 29年7月期第1四半期 △424百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第1四半期	△15.82	—
29年7月期第1四半期	△14.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年7月期第1四半期	5,950	3,133	52.4
29年7月期	5,843	3,592	61.2

(参考) 自己資本 30年7月期第1四半期 3,119百万円 29年7月期 3,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期	—	—	—	—	—
30年7月期	—	—	—	—	—
30年7月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年7月期の連結業績予想（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	54.3	△570	—	△570	—	△590	—	—
通期	6,000	27.0	130	45.4	140	△2.7	100	△1.3	3.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年7月期1Q	29,034,200株	29年7月期	29,034,200株
② 期末自己株式数	30年7月期1Q	一株	29年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年7月期1Q	29,034,200株	29年7月期1Q	29,034,200株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和政策の継続を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済の不確実性や政治情勢の不透明感の高まりなどにより、先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境下において、当社は「医薬」(Pharmaceuticals)と「食」(Foods)の融合「ファーマフーズ(Pharma Foods)」を目指し、積極的な事業展開を行ってまいりました。

その結果、機能性素材事業および通信販売事業において大幅な増収となり、売上高は1,613百万円(前年同期878百万円、前年同期比83.6%増)となりました。利益面では、通信販売事業において将来を見据えた戦略的な先行投資を行い、広告宣伝費1,209百万円(前年同期700百万円)を計上した結果、営業損失は483百万円(前年同期は438百万円の損失)、経常損失は455百万円(前年同期は425百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は459百万円(前年同期は424百万円の損失)となりました。

各セグメントの業績の概要は、次のとおりです。

<機能性素材事業>

「機能性素材事業」では、当社グループの根幹である機能性素材の開発、販売及び機能性素材を配合したOEM(original equipment manufacturer)製品の企画、販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間では、当社の主力素材である「GABA(ギャバ)」の拡販に引き続き注力してまいりました。国内市場では、「機能性表示食品制度」への取り組みを積極的に進めております。江崎グリコ株式会社「メンタルバランスチョコレートGABA」、日本ハム株式会社「Healthy Kitchenグリーンラベル減塩コースハム、減塩ハーフベーコン」、株式会社明治「明治のむヨーグルトGABAで元気」等、多くの食品メーカー、飲料メーカーより、「GABA」を配合した機能性表示食品が販売されております。

「ストレス」「疲労感」「血圧」及び「睡眠」に関する「GABA」配合商品の機能性表示届出数は着実に増加し、受理件数は全機能性素材中第2位となっており、国内での売上が大幅に増加いたしました。

「GABA」の海外展開では、中国、北米等を中心に営業展開を行い、中国では、複数のグローバルメーカーに当社の「GABA」が採用されております。一方、北米では「ストレス」及び「睡眠」サプリメントに当社の「GABA」が採用されており、好調に推移しております。

卵黄由来ペプチド「ボーンペップ」は、同素材が配合されたロート製薬株式会社「セノビック」、オハヨー乳業株式会社「セノビックヨーグルト」などが販売されており、売上が伸長しております。

この他、当社の根幹技術である鶏卵抗体「オボブロン」、卵白由来ペプチド「ランベップ」、卵黄由来ヒアルロン酸産生促進素材「iHA(アイハ)」、鶏軟骨由来ヒアルロン酸産生促進素材「HAS-II(ハス・ツー)」、卵白由来筋力低下抑制素材「サルコペップ」、酵母由来の美白素材「セレブロン」等を引き続き販売しております。

また、卵黄由来の新規育毛活性成分「HGP(Hair Growth Peptide)」を配合したサプリメント「ビハツネス」が株式会社シャルレより販売されております。更に、新規機能性素材「モリング」について研究開発を進めており、今後、新規素材の売上拡大に向けて開発、営業の両面から積極的に展開してまいります。OEM製品の販売では、サプリメントメーカー、製薬メーカー、及び流通業者等に積極的に営業展開を行っております。

これらの結果、機能性素材事業の売上高は314百万円(前年同期比40.3%増)、セグメント利益93百万円(前年同期比226.9%増)と大幅に伸長いたしました。

<通信販売事業>

「通信販売事業」では、当社の独自素材を配合したサプリメント(「タマゴ基地」ブランド)及び化粧品(「SOGNANDO」(ソニヤンド)ブランド等)を、当社及び前期に子会社化した株式会社フューチャーラボ(平成28年12月31日付で株式みなし取得)において販売しております。

当第1四半期連結累計期間では、ラジオ、テレビ、WEB及び紙媒体で、将来を見据えた積極的な広告展開を行い、新規顧客の効率的な獲得が進んでおります。また、当社専属のコールセンターである「株式会社ファーマフーズコミュニケーション」を強化し、新規及び既存顧客へのサービス向上に取り組んでおります。

その結果、当初予想を上回る好調なペースで顧客数が増加し、11月時点で、主力製品である膝関節用サプリメント「タマゴサミン」、活性卵殻膜を配合した美肌クリーム「珠肌のうみつ」及び「珠肌ランシエル」の定期顧客数が合計10万件を突破しております。

今後も効率を重視した積極的な広告投資、コールセンター機能の拡充、CRM(Customer Relationship Management)の強化等の諸施策を推進してまいります。

これらの結果、通信販売事業の売上高は、1,296百万円(前年同期比100.7%増)と、大幅な増収となりました。従来から行っている通信販売事業が伸長していることに加え、前期に子会社化した株式会社フューチャー

ボの業績が寄与し、大幅な増収となっています。利益面では、将来を見据えた投資により広告宣伝費1,209百万円の計上等を行い、セグメント損失555百万円（前年同期は433百万円の損失）となりました。

<バイオメディカル事業>

「バイオメディカル事業」では、創薬事業、医薬品・診断薬開発のための抗体受託作製事業、及び分析・効能評価試験を行うLSI（Life Science Information）事業を行っております。

創薬事業では、当社独自のニワトリ抗体作製技術「ALAGENE（アラジン・Avian Lead Antibody GENE）」を用いて新規抗体医薬を創製する「悪性腫瘍プロジェクト（標的分子：FSTL1）」、「関節リウマチプロジェクト（標的分子：PAD4）」、及び新規ペプチド医薬を創製する「骨形成プロジェクト」に引き続き注力してまいりました。

「悪性腫瘍プロジェクト」に関しては、平成27年末、国立がん研究センターと共同研究契約を締結し、疾患モデル動物に対する有効性確認試験を行ってまいりました。現在、同センターが大量に保有する各種ヒト悪性腫瘍組織について、FSTL1の発現解析を、順次行なっております。

全てのプロジェクトにおいて、公的研究機関と共同研究を推進しつつ、国内外の複数の製薬企業と提携交渉を継続しております。

当第1四半期連結累計期間では、抗体受託作製業務およびLSI事業の収入等により、売上高は2百万円（前年同期比72.3%減）、研究開発費の計上等により、セグメント損失20百万円（前年同期は33百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し、5,950百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加198百万円によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ566百万円増加し、2,817百万円となりました。これは主に、未払金の増加704百万円によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ459百万円減少し、3,133百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少459百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の連結業績予想につきましては、平成29年9月12日に発表しました業績予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,861,102	3,059,764
受取手形及び売掛金	593,293	617,585
商品及び製品	564,792	522,038
仕掛品	4,093	4,093
原材料及び貯蔵品	35,210	38,082
その他	308,786	213,849
貸倒引当金	-	△2,400
流動資産合計	4,367,279	4,453,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	269,391	267,345
機械装置及び運搬具(純額)	3,127	2,823
工具、器具及び備品(純額)	45,720	48,381
土地	387,863	387,863
リース資産(純額)	6,819	6,416
建設仮勘定	5,400	5,400
有形固定資産合計	718,322	718,231
無形固定資産		
のれん	241,678	257,124
その他	43,705	46,512
無形固定資産合計	285,384	303,637
投資その他の資産		
投資有価証券	39,752	45,641
関係会社長期貸付金	129,950	121,405
その他	303,386	309,105
貸倒引当金	△200	△200
投資その他の資産合計	472,889	475,951
固定資産合計	1,476,595	1,497,819
資産合計	5,843,875	5,950,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,285	152,956
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	446,716	432,745
未払金	236,208	940,620
賞与引当金	8,369	8,594
その他	205,092	154,297
流動負債合計	1,085,672	1,739,214
固定負債		
長期借入金	1,087,693	1,000,937
退職給付に係る負債	37,002	36,892
その他	41,021	40,626
固定負債合計	1,165,716	1,078,456
負債合計	2,251,389	2,817,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,031,278	2,031,278
資本剰余金	1,881,982	1,881,982
利益剰余金	△354,117	△813,349
株主資本合計	3,559,144	3,099,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,513	17,428
為替換算調整勘定	2,733	2,378
その他の包括利益累計額合計	18,247	19,807
新株予約権	8,217	4,059
非支配株主持分	6,877	9,385
純資産合計	3,592,486	3,133,162
負債純資産合計	5,843,875	5,950,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成29年10月31日)
売上高	878,850	1,613,697
売上原価	210,390	318,952
売上総利益	668,460	1,294,745
販売費及び一般管理費		
研究開発費	64,874	58,192
広告宣伝費	700,950	1,209,742
支払手数料	50,738	117,844
のれん償却額	167	9,110
その他	290,586	382,883
販売費及び一般管理費合計	1,107,317	1,777,772
営業損失(△)	△438,857	△483,027
営業外収益		
受取利息	2,289	1,954
為替差益	-	4,850
補助金収入	5,671	3,985
持分法による投資利益	14,052	5,298
受取補償金	-	20,777
その他	1,508	2,941
営業外収益合計	23,521	39,807
営業外費用		
支払利息	930	1,266
為替差損	1,818	-
解約違約金	4,629	-
商品回収等関連費用	-	10,799
その他	2,362	26
営業外費用合計	9,740	12,092
経常損失(△)	△425,076	△455,312
特別利益		
新株予約権戻入益	2,310	4,158
特別利益合計	2,310	4,158
税金等調整前四半期純損失(△)	△422,766	△451,154
法人税等	1,538	5,571
四半期純損失(△)	△424,305	△456,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	694	2,507
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△424,999	△459,232

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日)
四半期純損失(△)	△424,305	△456,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,376	1,914
為替換算調整勘定	1,285	△355
その他の包括利益合計	△91	1,559
四半期包括利益	△424,396	△455,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△425,091	△457,673
非支配株主に係る四半期包括利益	694	2,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	機能性素材事業	通信販売事業	バイオメディカル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	224,009	646,396	8,444	878,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	224,009	646,396	8,444	878,850
セグメント利益又は損失(△)	28,552	△433,451	△33,958	△438,857

(注) セグメント利益(△損失)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年8月1日至平成29年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	機能性素材事業	通信販売事業	バイオメディカル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	314,363	1,296,999	2,335	1,613,697
セグメント間の内部売上高又は振替高				
計	314,363	1,296,999	2,335	1,613,697
セグメント利益又は損失(△)	93,347	△555,734	△20,640	△483,027

(注) セグメント利益(△損失)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「通信販売事業」セグメントにおいて、連結子会社である株式会社ファーマフーズコミュニケーションが株式会社ファーマフーズコミュニケーション東海を平成29年9月1日付で吸収合併しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、23,736千円であります。